

2022年5月26日

TOYOBO
Beyond Horizons

SUSTAINABLE VISION 2030

サステナブル・ビジョン2030

サステナブル・グロースの実現

～安心してらせる「ゆたか」な社会の実現と企業価値向上のスパイラルアップ～





東洋紡株式会社

代表取締役社長 兼 社長執行役員

竹内 郁夫

新たな変革のスタート

2022年5月、東洋紡は創立140周年を迎えました。

これを機に、コーポレートロゴを60年ぶりに刷新するとともに、「サステナブル・ビジョン2030」を策定しました。

ロゴの真ん中を走る曲線は、地球の輪郭、つまり地平線を示しています。このロゴには、人と地球に求められるソリューションを創造し続ける企業グループをめざす、東洋紡の存在意義「なすべきことをなし、社会をゆたかにする」（順理則裕）が込められています。

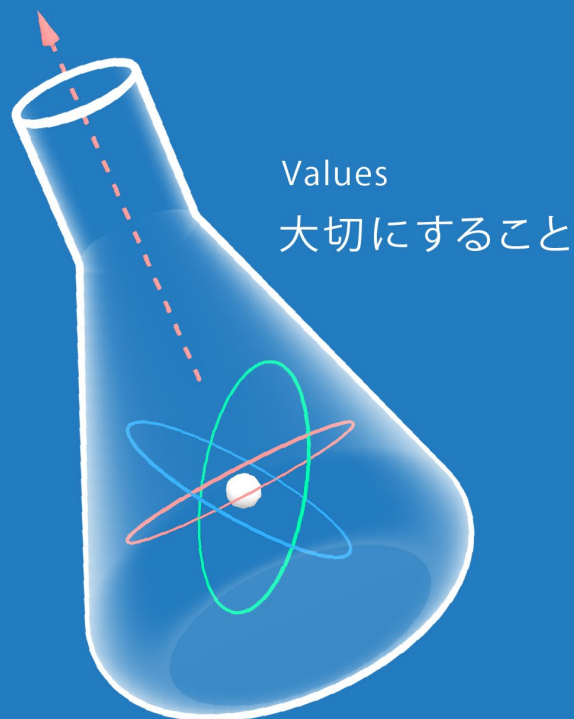
「サステナブル・ビジョン2030」では、今後の事業環境の変化を想定し、企業理念を基軸に、ありたい姿とともに、サステナビリティ指標とアクションプランを示しています。めざすは、サステナビリティに貢献するサステナブルな会社、そして、企業文化の「持続可能な成長（サステナブル・グロース）志向」への転換です。

Beyond Horizons – 超えていこう、もっと先へ

TOYOBO
Beyond Horizons

● 理念 Principle

● めざす姿 Vision



Principle

理念

『順理則裕』

なすべきことをなし、ゆたかにする

Vision

めざす姿

私たちは、素材 + サイエンスで
人と地球に求められるソリューションを
創造し続けるグループになります

Values

大切にすること

私たちは、変化を恐れず、変化を楽しみ、
変化をつくります

TOYOBO Spirit : 挑戦・信頼・協働

サバイバル思考から、

「赤字は悪」、「黒字は善」

現状

- ① フィルムで成長実現も、グループ全体では横ばい
- ② ゆるぎない信頼に向け、全社を挙げて取り組み
- ③ 強み：エッジのきいた製品・技術、生産基盤、人材、真摯さ

サステナブルな成長志向へ。

- 社会のサステナビリティに貢献する
- サステナブルな（成長を実現する）会社になる

事業環境

変化大・急、非連続 → インパクト大

- ① ステークホルダー資本主義により企業のあり方も変わる
- ② 脱炭素、循環型経済、EV化
- ③ 技術進歩・実装の加速（DX、ライフサイエンスなど）
- ④ 国内市場漸減、資源高止まり、調達リスク
- ⑤ 人々の意識・価値観・行動の変容

安心してらせる「ゆたか」な社会の実現と企業価値向上のスパイラルアップ

- ① 事業を通じて社会の課題解決に貢献
- ② 持続可能な成長（しっかりした土台+未来への成長軌道）
- ③ 現場が主役（安全・安心な職場環境、誇りとやりがい、自己成長）

サステナビリティ指標

重大インシデント

ゼロ

従業員エンゲージメントスコア

70%以上

GHG排出量削減 2013年度比
(Scope1, 2)

46%以上
2050年度 カーボンニュートラル

主力事業*における原材料のグリーン化比率

60%

*フィルム事業を想定

財務指標

連結売上高

6,000億円

営業利益率

8.3%以上

ROE

9%以上

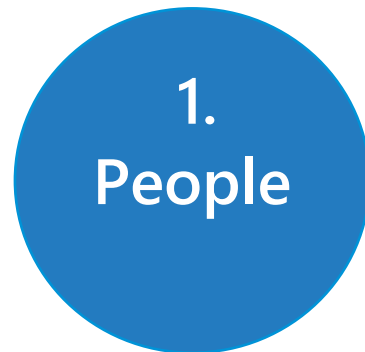
ROIC

7%以上

サステナブル経営に向けたアプローチ: Innovationと3つの「P」

Innovation

- 「人」と「地球」を最終的な「お客さま」と捉えたマーケティング思考
- 「素材 + サイエンス」に基づき、独自の工夫やアイデアによるサイエンスベースド・イノベーション
- 多様なパートナーとのオープンイノベーション等を通じた価値共創



「人」を中心とした
社会課題の解決策








「地球」全体を意識した
社会課題の解決策



















課題解決を通じて
社会全体が「ゆたか」になり、
東洋紡も「ゆたか」になっていくことが
私たちの考える“Prosperity”

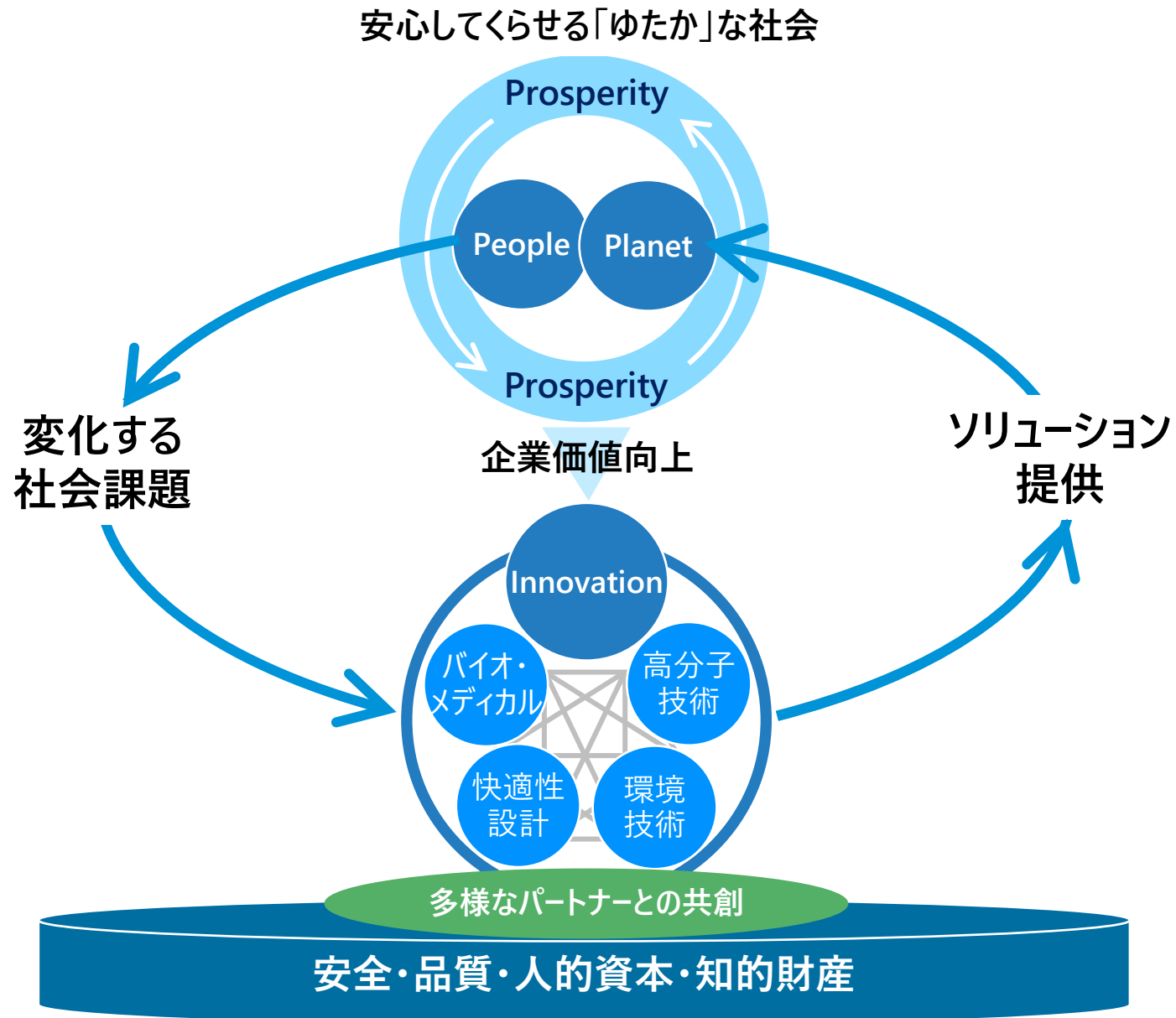
『順理則裕』なすべきことをなし、ゆたかにする

| | | | | | |
|-----------------|---|---|---|--|--|
| めざす姿 | <h3>Innovation</h3> <p>素材 + サイエンスで人と地球に求められるソリューションを創造し続けるグループになります</p> | | | | |
| 2030年の社会変化・トレンド | 安全・人権や社会正義への対応の標準化 | 医療アクセス・健康増進のニーズ拡大・多様化 | 人口動態変化・「人」中心のイノベーション・都市化の加速 | 脱炭素・資源循環・天然資源の制約 | |
| 貢献により解決する社会課題 | People | | | Planet | |
| |  従業員のウェルビーイング & サプライチェーンの人権 |  健康な生活 & ヘルスケア |  スマートコミュニティ & 快適な空間 |  脱炭素社会 & 循環型社会 |  良質な水域・大気・土壌 & 生物多様性 |
| 未来へつなぐチャレンジ | 「現場が主役」従業員の安全・誇りとやりがい サプライチェーン全体の人権尊重 | 感染症分野へ貢献 QOL向上へ貢献 | 「人」中心のデジタル社会実現への貢献 快適空間の創造 | カーボンニュートラルへ貢献 資源循環に向けたエコシステム形成 | ソリューションを通じて環境を良質化 フードロス削減 & サステナブル食品 |
| 2030年のありたい姿 | <h3>Prosperity</h3> <p>安心してらせる「ゆたか」な社会の実現と企業価値向上のスパイラルアップ</p> | | | | |

5つの社会課題とSDGsのつながり

| | | | | | | |
|--------|--|--|--|---|--|--|
| People |  <p>従業員のウェルビーイング & サプライチェーンの人権</p> |  <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p> |  <p>8 働きがいも経済成長も</p> |  <p>10 人や国の不平等をなくそう</p> | <ul style="list-style-type: none"> 「現場が主役」従業員の安全・誇りとやりがい サプライチェーン全体の人権尊重 | |
| |  <p>健康な生活 & ヘルスケア</p> |  <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> | | | | <ul style="list-style-type: none"> 感染症分野へ貢献 医用膜などでQOL向上 |
| |  <p>スマートコミュニティ & 快適な空間</p> |  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p> | | | | <ul style="list-style-type: none"> 高機能フィルムや先端材料で「人」中心のデジタル社会 CASEやMaaSへの対応、安全快適移動空間の創出 |
| Planet |  <p>脱炭素社会 & 循環型社会</p> |  <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> |  <p>12 つくる責任 つかう責任</p> |  <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> | <ul style="list-style-type: none"> Scope1,2のカーボンニュートラル達成（～2050） 製品の資源循環に向けたエコシステムの形成・参画 | |
| |  <p>良質な水域・大気・土壌 & 生物多様性</p> |  <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p> |  <p>14 海の豊かさを守ろう</p> |  <p>15 陸の豊かさも守ろう</p> | <ul style="list-style-type: none"> 機能膜や溶剤回収装置による環境負荷低減・良質化 高機能包装用フィルムでフードロス削減に貢献 サステナブル食品 | |

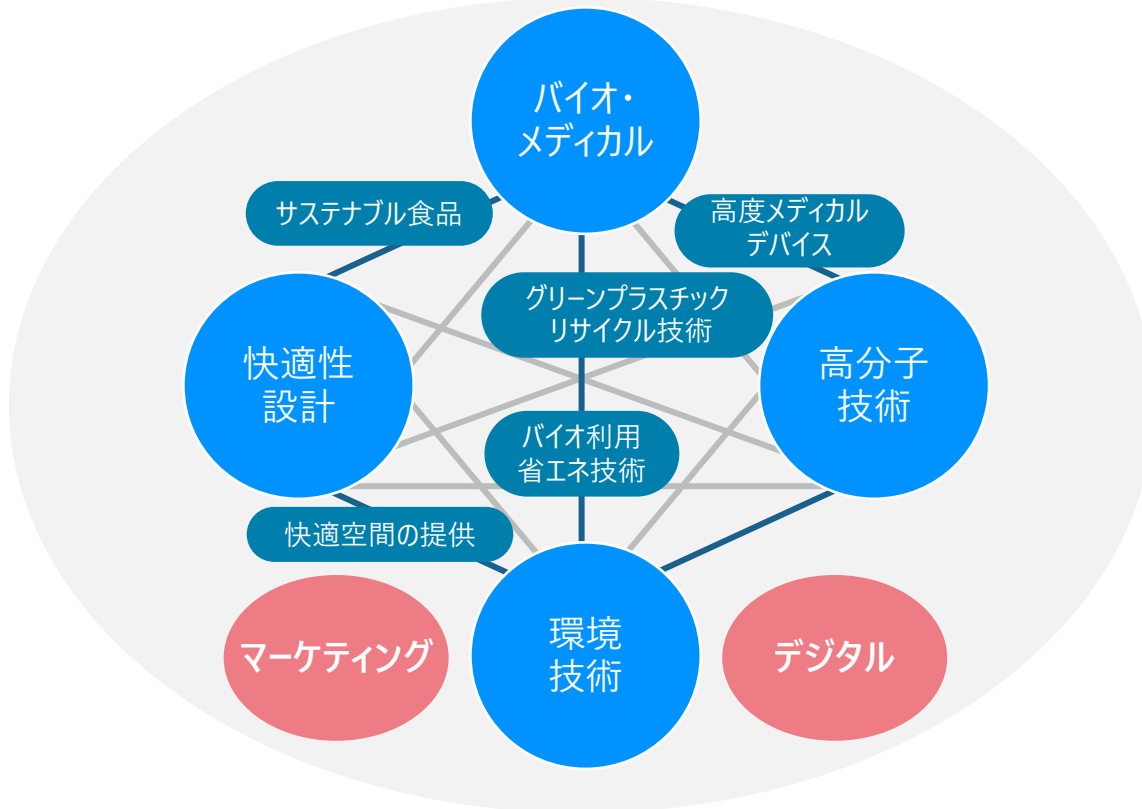
② 持続可能な成長（しっかりした土台 + 未来への成長軌道）



未来への仕込み

イノベーションの創出

4つのコア技術×マーケティング×デジタルによる
「技術の融合」



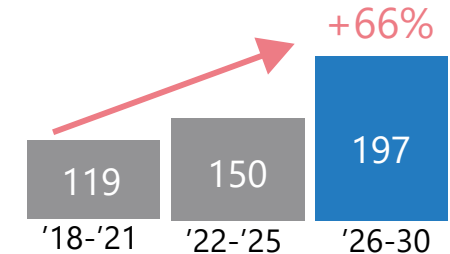
新事業の探索

- 「みらいプロジェクト」などの取り組みを通じ、新規領域を探索
- オープンイノベーション（アカデミアやスタートアップとの連携）を活用し、目利き力を磨きながら、社会課題起点やマーケットインによるテーマを 継続的に見直しつつ設定

設定テーマ例

- サステナブル食品
- 高度メディカルデバイス

- サイエンス（設計力/定量化/誠実性）をてこに、イノベーションテーマのPoC実施
- 件数や研究開発投資額等、関連KPIを設定

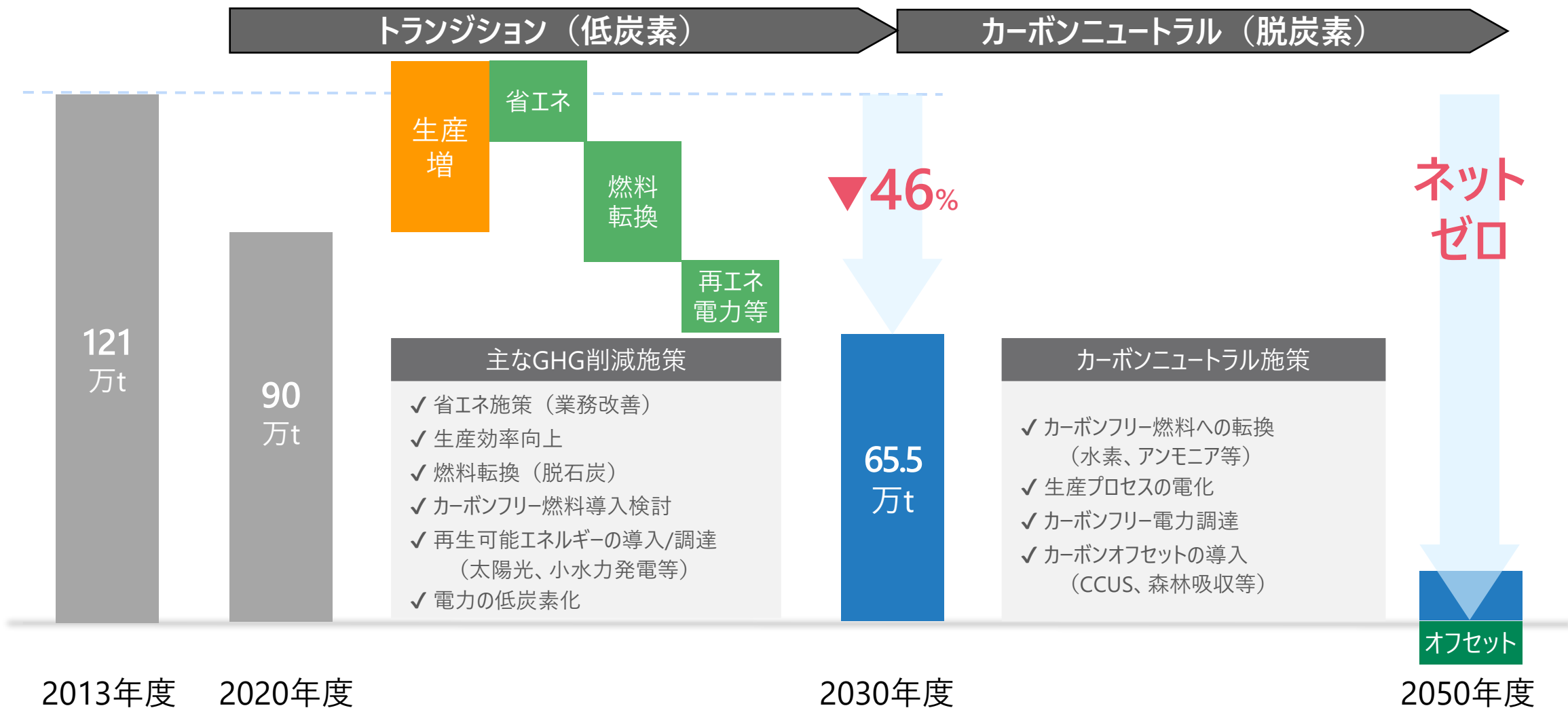


KPI設定例

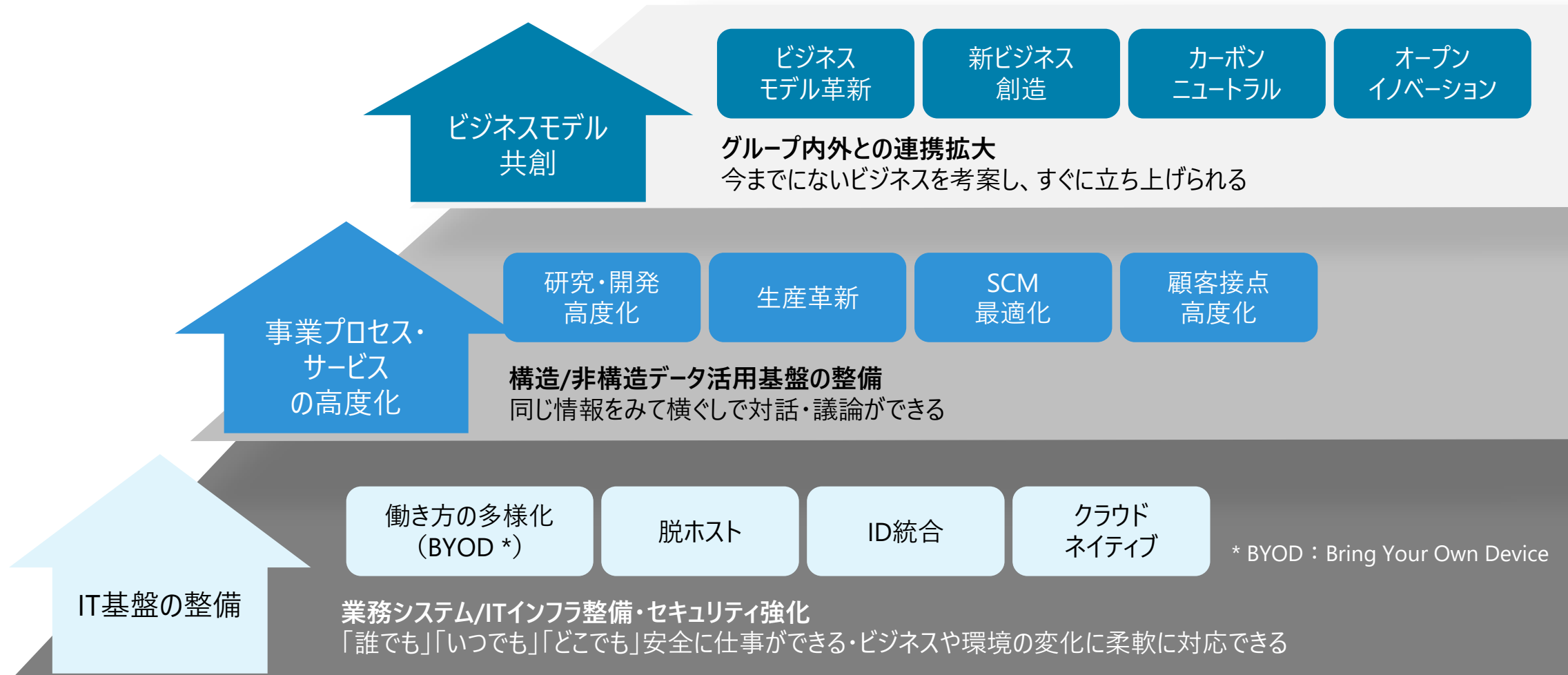
- スタートアップ等との面談・調査数/年
- 年間研究開発投資額（知財投資含む）
単位：億円(当該期間の年平均)

② 持続可能な成長（しっかりとした土台＋未来への成長軌道）

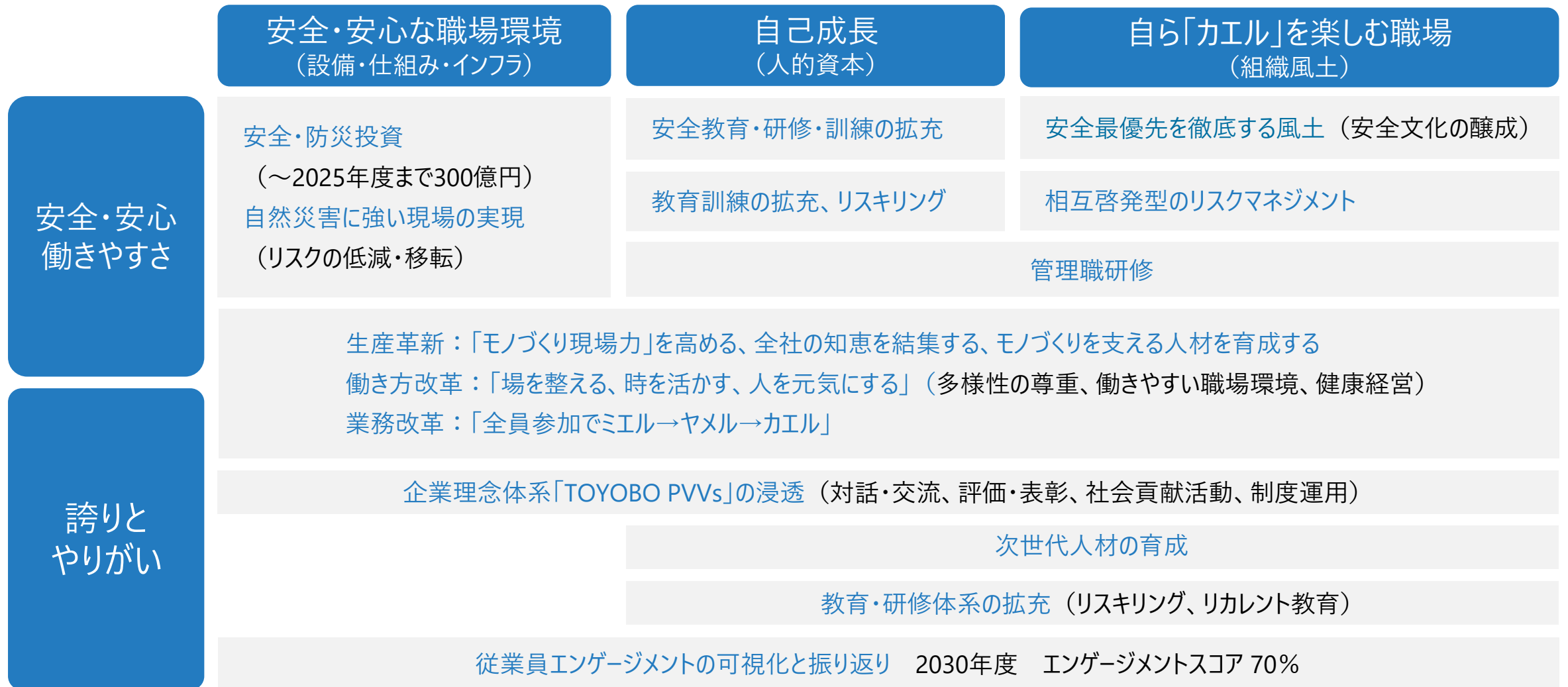
当社グループのGHG排出量（Scope 1, 2）のネットゼロを目指す

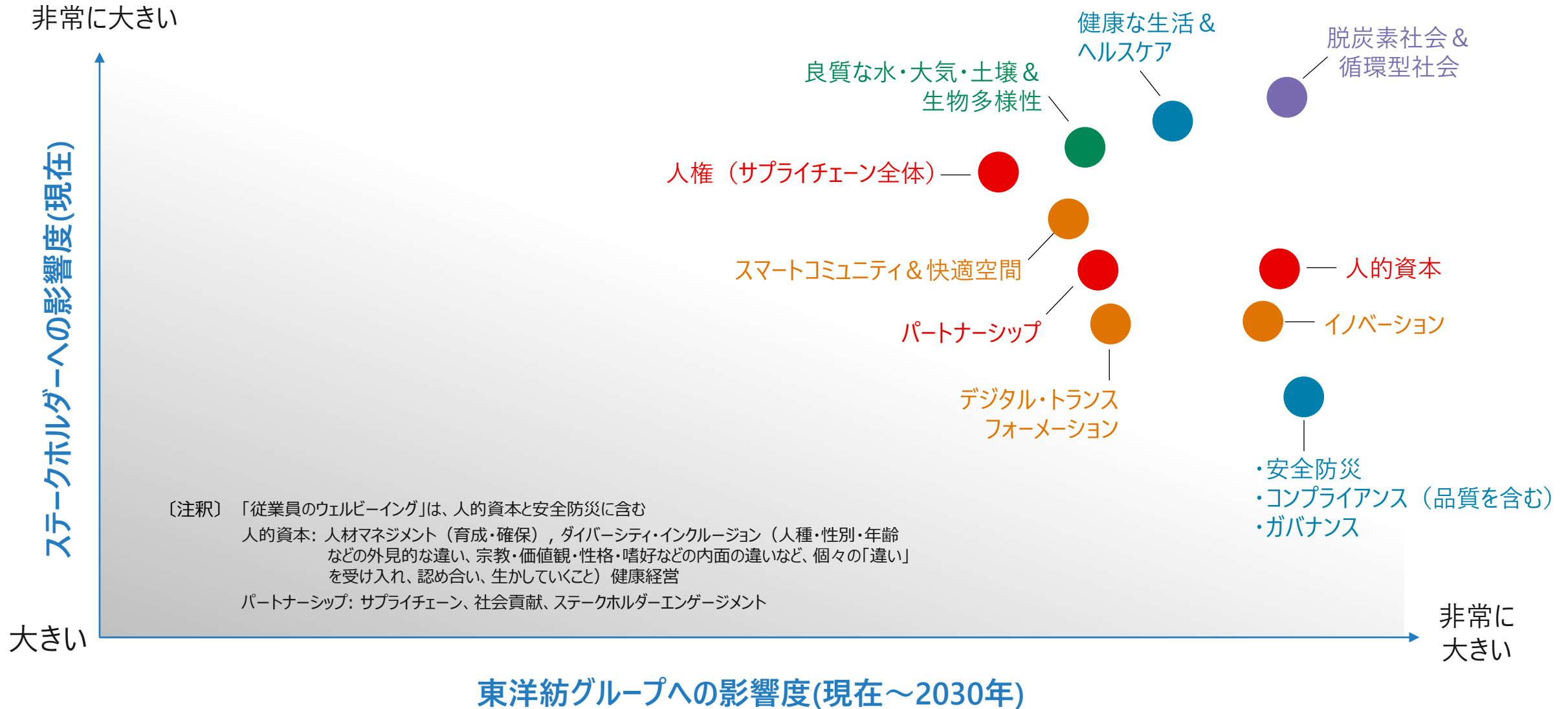


デジタル・トランスフォーメーションの実現に向けて



安全・安心で働きやすく、誇りとやりがいを感じられる‘現場’の創出





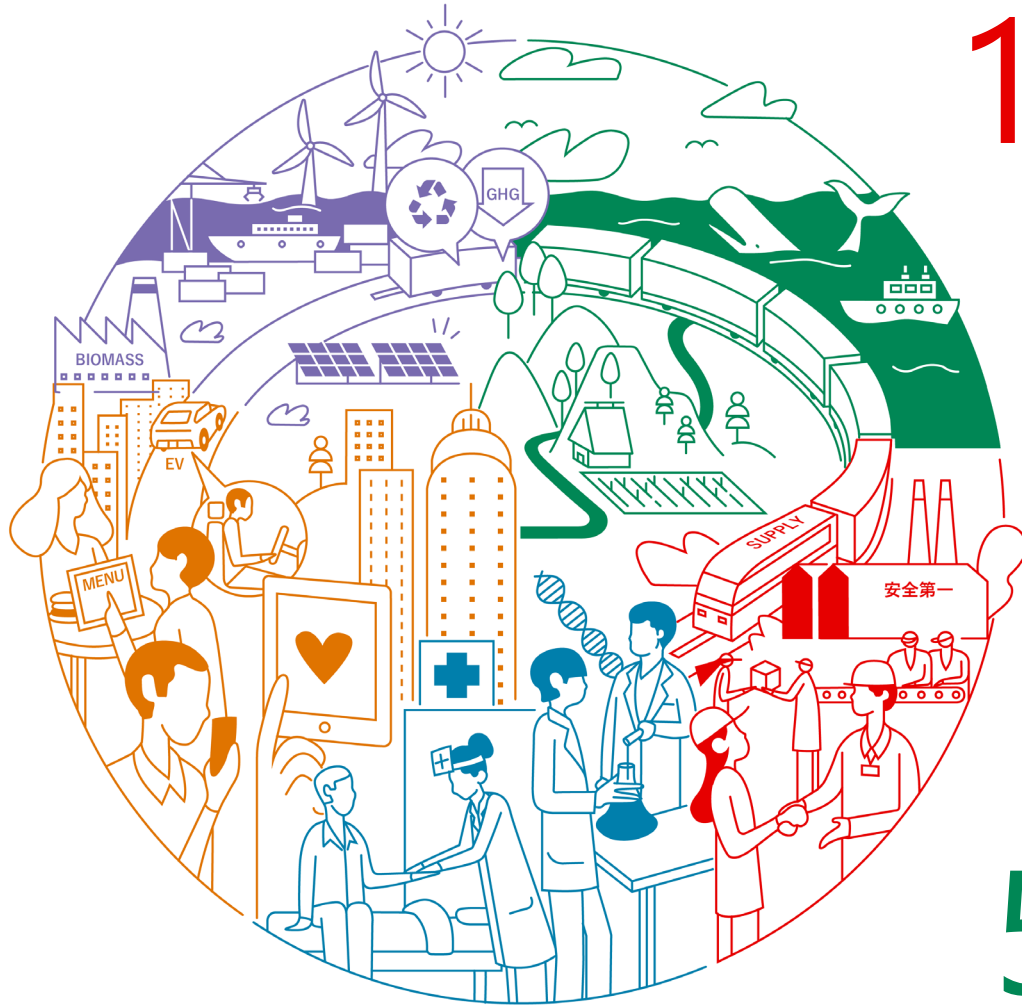
2030年の主な目標

People : 「人」を中心とした社会課題の解決に貢献

| | | | | |
|---|----------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|
|  | 従業員のウェルビーイング & サプライチェーンの人権 | 全ての現場で ゼロ 災害達成 | 従業員エンゲージメントスコア 70% 以上 | サプライチェーン全体の 人権尊重 |
|  | 健康な生活 & ヘルスケア | 感染症診断薬提供による 検査回数 1,000万 回/年 | 透析膜を提供する透析患者数 25万人 | 再生誘導材の提供患者数 10万人 /年 |
|  | スマートコミュニティ & 快適な空間 | DXを支える商品群の販売量 2020年度比 1.5 倍 | 車室内空気清浄フィルターの 販売累計 120 万台 | 音・熱マネジメントによる 電動車の快適車室空間の創出 |

Planet : 「地球」全体を意識した社会課題の解決に貢献

| | | | | |
|---|---------------------|--|-------------------------------------|---|
|  | 脱炭素社会 & 循環型社会 | GHG排出量 Scope1, 2削減率 2013年度比 46% 以上 | フィルムのグリーン化比率 60% | 浸透圧発電・風力発電領域 大規模蓄電池用電極材に参入 |
|  | 良質な水域・大気・土壌 & 生物多様性 | 揮発性有機化合物 回収装置の処理風量 70 億Nm ³ /年 | 膜による海水淡水化 1,000万人分 の水道水相当 | フードロス削減に貢献する 高機能フィルムの販売量 2020年度比 4 倍 |



1 従業員のウェルビーイング & サプライチェーンの人権

- 「現場が主役」従業員の安全・誇りとやりがい
- サプライチェーン全体の人権尊重

2 健康な生活 & ヘルスケア

- 感染症分野へ貢献
- QOL向上へ貢献

3 スマートコミュニティ & 快適な空間

- 「人」中心のデジタル社会実現への貢献
- 快適空間の創造

4 脱炭素社会 & 循環型社会

- カーボンニュートラルへの貢献
- 資源循環に向けたエコシステムの形成

5 良質な水域・大気・土壌 & 生物多様性

- ソリューションを通じて環境を良質化
- フードロス削減 & サステナブル食品

社会から求められること

- 誰一人取り残さない、ゆたかな社会の実現に向けて企業が果たすべき責務
- 従業員が安心して活躍し、成長し続けられる環境整備
- サプライチェーン全体の安全と人権尊重

東洋紡が重視すること

「現場が主役」
従業員の安全や健康（健康経営）
誇りとやりがい

リスクリングやリカレント教育の
拡充・提供

サプライチェーン全体で
人権尊重

WHY TOYOBO

1
従業員の
ウェルビーイング &
サプライチェーンの
人権



全ての現場で
ゼロ災害を達成



健康経営優良法人
Health and productivity

健康経営優良法人
「ホワイト500」の取得
(~2025)



誇りとやりがいのある会社
エンゲージメントスコア
70%以上



サプライチェーン全体で
人権尊重



従業員の教育・研修体系の拡充
(リスクリング・リカレント教育など)

2

健康な生活 &ヘルスケア

社会から求められること

- 感染症克服は世界の重要課題であり、国家・産業セクターを超えた協調対策
- 人手不足が進むなか、医療・介護需要は拡大し、業務の効率化が求められる
- 多様化する健康・医療ニーズへのこまやかな対応

東洋紡が貢献できること

WHY TOYOBO

感染症分野における
ソリューションを提供

ワクチンとバイオシミラーの
無菌注射剤の製造

医用膜や再生誘導材などで
QOL向上や治療に
不可欠な素材を提供

医療・介護用途に三次元
網状繊維構造体を提供



感染症診断薬等の提供を
通じて貢献する検査回数

1,000 万回/年



透析膜の提供を通じて
貢献する透析患者数

25 万人



生化学検査等の
原料市場シェア

30 %



再生誘導材の提供患者数

10 万人/年



三次元網状繊維構造体の
医療・介護領域における
普及・拡販

3

スマートコミュニティ & 快適な空間

社会から求められること

- 誰もがデジタルを安心して活用できる、「人」中心のデジタル社会
- デジタル技術伸展に不可欠な製品材料や製造工程を支えるソリューションの提供
- 快適な空間の実現に寄与するソリューションの提供

東洋紡が貢献できること

「人」中心のデジタル社会への移行・イノベーションへの貢献

室内・公共・移動空間の快適性向上

WHY TOYOBO

新素材の提供・未来のモビリティ（CASE・MaaS対応）提案



デジタル社会を支える
商品群の売上高拡大 **1.5** 倍
(2020年度比)



車室空間キャビンフィルタの
販売累計 **120** 万台



参入

音・熱マネジメントによる
電動車の快適車室空間の創出

4

脱炭素社会

社会から求められること

- 「地球」から求められる最優先課題は気候変動対応
- 自社の事業活動・バリューチェーン全体における温室効果ガスの排出量削減
- 脱炭素社会の実現に寄与するソリューションの提供

東洋紡が貢献できること

WHY TOYOBO

事業活動における温室効果ガスの排出削減を
推し進め、2050年度にはネットゼロを達成

脱炭素社会の実現に貢献する
さまざまなソリューションの提供



「Scope 1, 2」2030年度に
46%以上削減（2013年度比）
2050年度にネットゼロ

削減貢献として2050年までに
バリューチェーン全体のGHG排出量を上回る

削減貢献量



自社のバリューチェーン
全体の排出量

自社の取り組み



浸透圧発電



参入



風力発電用の
洋上ケーブル・絶縁樹脂



燃料電池車の
電池接着シート



大規模蓄電池用
電極材



水素関連材料

ソリューション提供

4

循環型社会

社会から求められること

- プラスチックメーカーとしての責任
 - ✓ 製造工程からの廃棄物を削減、リサイクル、最終処分量の最小化
 - ✓ バイオマス・リサイクル原料の活用や循環型社会の実現に向けた対応

東洋紡が貢献できること

製造工程における新品素材の使用率
低減とリサイクル原料の活用追求

製品・ソリューションの提供を通じて
製品ライフサイクル全体で
資源使用量削減に貢献

資源循環に向けた
エコシステムの形成・参画

WHY TOYOBO



最終廃棄物処分率
1%未満



フィルムのグリーン化*
比率 60%

* バイオマス・リサイクル原料, 減容化



資源循環
エコシステム 参画



自社の取り組み

ソリューション提供

数値は2030年の目標

5

良質な水域・
大気・土壌
&生物多様性

社会から求められること

- 環境負荷低減はもとより、環境の“良質化”
 - ✓ 自社の事業活動において、環境負荷を低減する取り組み
 - ✓ 良質な「水」「大気」「土壌」を確保するソリューションの提供
- 生物多様性を保全するための取り組み
 - ✓ ‘ネイチャーポジティブ’(自然や生物多様性を優先し、損失をプラスに転じる)への寄与

東洋紡が貢献できること

WHY TOYOBO

製造工程で発生する化学物質を適切に管理、外部漏出を防止

揮発性有機化合物回収装置、水処理膜などにより環境負荷軽減・良質化に貢献

フードロス削減に寄与する高機能フィルムの販売量拡大やサステナブル食品領域への参入により生物多様性保全に貢献

環境負荷低減



排出排気物質 **15** % 削減
(2015年→2030年)

自社の取り組み



揮発性有機化合物回収装置
処理風量 **70** 億Nm³/年



膜による海水淡水化
1,000 万人分の水道水相当



フードロス削減に寄与する高機能フィルムの販売量
2020年度比 **4** 倍



サステナブル食品

参入

ソリューション提供

数値は2030年の目標

2030年、東洋紡グループは
安心してらせる「ゆたか」な社会の実現と
企業価値向上のスパイラルアップをめざします

SUSTAINABLE
VISION
2030



TOYOBO
Beyond Horizons